

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

長い梅雨がようやく明け、いよいよ夏本番になってまいりました。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、6月28日（金）に千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会を、市川市立第六中学校、千葉県立現代産業科学館にて開催することができました。多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席のもと、盛会裏に執り行うことができ、すばらしい研究大会になりました。



山田会長の挨拶

——定期総会から——

定期総会では、平成30年度活動報告、決算・会計監査報告、令和元年度活動方針案及び予算案に関する件、役員選出などの報告・議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。今年度の感謝状贈呈者は下記の方です。（順不同・敬称略）

千葉 市原	小出 泰幸 城谷 光男	千葉 東葛飾	萬崎 保子 浅岡 正人	千葉 東葛飾	山田 久恵 高橋 徹	千葉 東葛飾	荒井 明 渡辺 雅裕
東葛飾	鈴木 明裕	東葛飾	菊池恵津子	東葛飾	三代川恒夫	東葛飾	大河内敦子
東葛飾	續木万里子	東葛飾	佐藤 利江	東葛飾	中村 由紀	東葛飾	小池眞佐子
東葛飾	眉山 千聡	印旛	相京 貢	山武	御園未枝子	夷隅	原田 和徳

全国大会や全国作品展に入賞する作品の指導をされた指導者に対し、「優秀指導者表彰」が贈られました。受賞された方は、下記の方々です。（順不同・敬称略）

大保 信義（千葉市立都賀中）	源間 洋文（館山市立第二中）
----------------	----------------

——公開授業から——

公開授業は、市川・浦安支部研究主題「生活や技術を工夫し創造する思考力・判断力・表現力を育成する学習指導の在り方」のもと授業が展開されました。技術分野、家庭分野それぞれの研究発表の後、茂原市立南中学校長 細田 稔様、千葉県教育庁教育振興部学習指導課指導主事 田邊 暁子様よりご指導、ご講評をいただきました。

技術分野 <授業者 野原 宗高 先生（市川市立福栄中学校）>

技術分野では、栽培過程や結果の評価、改善、修正を行わせることをねらいとし、栽培に最適な生育環境を考える授業が展開されました。グループごとに水分、肥料などの異なる生育環境で育てた小松菜を観察・評価し、話し合いで検討した後、発表で共有する活動が行われました。生徒は、葉の虫食いの有無を比較するなどして生育環境を考えていました。本時までには得た知識や技能をもとに、良質な作物の収穫が期待される授業となりました。

家庭分野 <授業者 卜藏 佳織 先生（市川市立福栄中学校）>

家庭分野では、「幼児の発達と生活（幼児は、どのようにみえているのだろう）」という題材で授業が行われました。生徒が「チャイルドビジョン」をつけて幼児の行動を疑似体験し、気づいた点を発表する授業が展開されました。発表では、「まわりが見えなかったから、おもちゃに夢中になっていた。」「視界がせまかったからボタンをかけにくかった。」といった内容があり、生徒一人一人が生き生きと参加する、すばらしい授業となりました。



技術分野（生物育成の技術）



家庭分野（家族・家庭生活）



—— 現代産業科学館 施設見学 ——

今年度は、公開授業を市川市立第六中学校で行い、研究協議や総会は近隣の千葉県立現代産業科学館で行われました。施設は、「現代産業の歴史」「先端技術への招待」「創造の広場」の3つの常設の展示に加え、科学実験やワークショップも併設され、とても興味深い見学でした。また、同施設は校外学習などにも利用され、学校への「出張講座」や授業で使用できる「貸出し学習キット」なども用意されておりますので、みなさんご利用してみたいかがでしょうか。

—— 作品展から ——

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。創意工夫ある素晴らしい作品が展示されました。その中で次の作品が今年度の平成全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展や関ブロ茨城大会に出展することになりました。

教育長賞 (技術分野) 「オリジナル小物入れ」 茂原市立東中学校 米岡 玲菜さん
 (家庭分野) 「防災頭巾」 八街市立八街中央中学校 織田 恵美さん



振興会長賞 (順不同)

技術	南房総市立嶺南中学校	長谷川 友菜さん	家庭	船橋市立宮本中学校	大澤 千夏さん
	市川市立福栄中学校	新田 愛莉さん		茂原市立南中学校	中村 舞さん
	木更津市立木更津第三中学校	佐野 あすかさん		千葉市立小中台中学校	須田 夏生さん
				千葉市立小中台中学校	桑畑 史華さん

以上 9 作品が全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品

技術	香取市立佐原中学校	今泉 宗一郎さん	家庭	柏市立柏第二中学校	岩田 梨乃さん
	習志野市立第二中学校	田中 優輝さん		横芝光町立光中学校	越川 優花さん
	君津市立周西中学校	長谷川 優葵さん		市川市立妙典中学校	渡辺 陽さん

以上 6 作品が関ブロ茨城大会 生徒作品展出品

技術	船橋市立船橋中学校	田邊 拓也さん	家庭	八千代市立大和田中学校	今井 穂香さん
	千葉市立草野中学校	江尻 稀央さん		いすみ市立国吉中学校	板倉みくるさん
	千葉市立花見川中学校	田中 祥太さん		市原市立市原中学校	向井 理子さん
				君津市立小糸中学校	水野 涼葉さん
				習志野市立第四中学校	齋藤 すずさん

—— お知らせ ——

- ☆ 関ブロ茨城大会が10月24日(木)・25日(金)に行われます。開催案内など詳細は後日送付されます。多くの先生方のご参加をお願いします。
- ☆ 第16回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月9日(土)に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくをお願いします。

—— 編集後記 ——

多くの先生方のご協力により、部会だより第1号を発行することができました。今年度より広報部は、伊藤芳仁(広報部長・千葉市立千草台中学校)、宮原 尚(広報副部長・市原市立国分寺台中学校)、大野 忠(広報部員・千葉市立松ヶ丘中学校)の3名で担当いたします。今年度も広報部より年3回部会だよりを発行し、作品展や研究大会などの情報をお伝えする予定です。よろしくをお願いします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》

令和元年12月18日

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。今号では、10・11月に開催された関ブロ研究大会、ものづくりフェアの様子をお伝えします。

——第16回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア——

11月9日（土）に、県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。当日は、多くのご来賓をお迎えし、競技が行われました。会場には多数の生徒・保護者が来場し大変賑わいました。競技の結果は以下のとおりとなりました。

<各部門の結果>

「ものづくり」部門ー木工の技 審査結果 1位 木更津市立木更津第三中学校 佐野あすかさん（県知事賞・全国大会出場権獲得） 2位 船橋市立行田中学校 神谷 晴子さん（県会長賞） 3位 市原市立ちはら台南中学校 古屋 和響さん（県会長賞）
「ものづくり」部門ーアイデアバッグ 審査結果 1位 御宿町立御宿中学校 米本 みれさん（県知事賞・関東大会出場） 2位 松戸市立六実中学校 白幡 晴香さん（県会長賞・関東大会出場） 3位 松戸市立六実中学校 福島 舞桜さん（県会長賞）
「ものづくり」部門ーおべんとうコンクール 審査結果 ※レポート審査の上位7チームが競技。1位が全国大会へ推薦。 1位（県知事賞）千葉市立幕張西中学校（邨田 主海さん・青木 奎亮さん・福原 将太さん） [キッカーマンおいしい記憶賞]も受賞 2位（県会長賞）千葉市立葛城中学校（青柳 陽花さん・木村 柚喜さん・阿部 結音さん） 3位（県会長賞）千葉市立葛城中学校（宇枝 桃花さん・庄司 愛梨さん） [学校給食会理事長賞] 千葉市立泉谷中学校（秋葉 美南さん・神山 実織さん・サマー・ジュエル・ローズさん） [東京ガス エコ・クッキング賞] 千葉市立葛城中学校（片桐 柑花さん・小倉 結衣さん） 《学校賞》 木更津市立太田中学校
「ロボットコンテスト」部門 競技・審査結果 ※各部門の1位・2位チームと、審査員による推薦チーム（特別賞）の3チームが関東大会に出場 ロボコン大賞 千葉市立おゆみ野南中学校 "Oyumino-A"（県知事賞・応用部門） <基礎部門> 1 位 流山市立東深井中学校 "正方形"（関東大会出場） 2 位 流山市立東深井中学校 "チーム廃品回収"（関東大会出場） 特別賞 習志野市立第一中学校 "チーム名"（関東大会出場） <活用部門> 1 位 千葉市立小中台中学校 "リベンジャーズ"（関東大会出場） 2 位 千葉大学教育学部附属中学校 "chizuchizu.com"（関東大会出場） 特別賞 千葉市立小中台中学校 "みりん改"（関東大会出場） <応用部門> 1 位 野田市立北部中学校 "野田北部中A"（関東大会出場） 2 位 千葉市立おゆみ野南中学校 "Oyumino-A"（関東大会出場） 特別賞 習志野市立第一中学校 "疾風 Ver.R"（関東大会出場）



<開会式>



<木工の技>





＜アイデアバック＞

＜おべんとうコンクール＞



＜ロボットコンテスト＞

＜閉会式・表彰＞

——第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会茨城大会——

10月24日（木）～25日（金）にかけて、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会茨城大会が開催されました。研究主題「未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む技術・家庭科教育」のもと、茨城県内各中学校9分科会に分かれて公開授業・研究発表が行われました。全体会では、千葉県から以下の4名の先生が長年に渡る本部会役員としての功績を讃えられ、表彰されました。



相京 貢 先生（前富里市立富里中学校校長）	小出 泰幸 先生（前千葉市立若松台小学校校長）
浅岡 正人 先生（前鎌ヶ谷市立西部小学校校長）	萬崎 保子 先生（前千葉市立轟町中学校教諭）

また、茨城大会において、千葉県の先生の実践発表が以下のとおり行われました。

第3分科会 （エネルギー変換）	横芝光町立光中学校 顧 篤 範 教諭	よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成 ～エネルギー変換の技術に関する問題解決的な学習を通して～
第5分科会 （家族・家庭生活）	習志野市立第四中学校 永 野 瞳 教諭	人とのつながりを実感し、心豊かな生活を目指す ～幼児との関わりを通して～

——分科会の様子——

第3分科会（技術分野・Cエネルギー変換の技術）では顧先生から、エネルギー変換の教具として、自転車ダイナモを利用した発電システムを開発し、LEDを利用し発電の様子を可視化する実践が発表されました。この実践の成果として、生徒が進んで技術を評価、改良、応用する姿勢が見られるようになったことが挙げられました。

第5分科会（家庭分野・A家族・家庭生活）では永野先生から、幼児と触れ合う活動を通して、心豊かな生活を目指す実践が発表されました。習志野市内7校共通の指導計画を立案し、学校の実態と地域特性に応じた活動を通して、生徒に人の温かさや優しさを感じさせることができ、心豊かな生活を目指そうとする態度が見られるようになったとのことです。両分科会とも大変すばらしい提案発表となりました。



＜技・発電システム教具、生徒作品など＞



＜家・公開授業、教材、ワークシートなど＞



——編集後記——

第2号の発行にあたり、関係の会員の皆様に資料等の提供をいただきありがとうございました。第3号では、本年度の活動内容および各地の作品展について掲載する予定です。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせください。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

まもなく年度末を迎えようとしております。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

—— 令和元年度の活動を振り返って ——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 山田 克彦

新しい令和の時代となり、今年度も早いもので残すところわずかとなりましたが、各事業や研究を無事に進めることができました。これもひとえに本会を支えてくださる皆様の温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて、今年度は、新学習指導要領の移行期間にあり、題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、単に何かを作るといった活動だけではなく、「技術の見方・考え方」「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた実践的・体験的な学習活動へと転換を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んできました。

そのような中、6月に令和元年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会が市川市立第六中学校・千葉県立現代産業科学館で開催され、多くの先生方のご協力、ご支援により、研究協議並びに総会が盛会裏に終了できましたことを心から御礼申し上げます。

また、本教科の成果を発表する場の一つとして、「千葉県中学生創造ものづくり教育フェア」があり、4部門に、のべ298名の生徒が参加して日頃の学習の成果を発表することができました。全国大会では、おべんと部門で全国1位、アイデアバッグ部門全国5位、生徒作品展でも家庭分野で全国2位・3位に入賞しました。この成果もご指導いただいた先生や応援くださった皆様のお力によるものと感謝申し上げます。

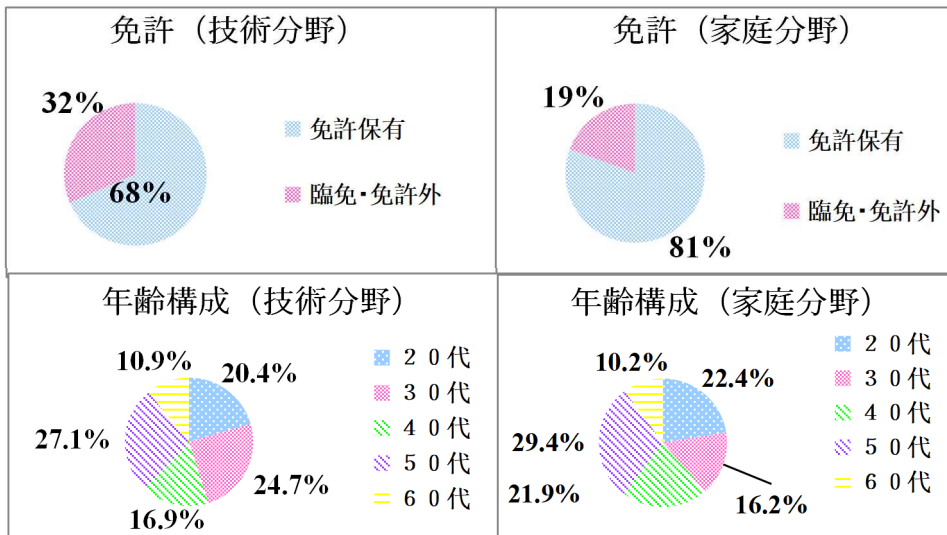
次年度は、新学習指導要領が小学校で完全実施、中学校では移行期間の最終年度となります。評価についても、確実な準備を進めていく必要があります。また、令和6年度に開催予定の関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会千葉大会に向けて、始動していく年でもあります。今年度以上に研修会等で中間の絆を深め、資質向上に向けて力を結集させていくことが大切だと考えます。

結びに、今年度の皆様のご尽力に感謝申し上げ、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いして、今年度最終号の巻頭言といたします。

—— 千葉県中学校技術・家庭科教員現状調査より ——

今年度も調査編集部で、県内の技術・家庭科教員の現状調査を実施しました。免許保有、勤務形態、年齢構成、教科経営上の問題点など、各校からの回答を集計したものです。一部を紹介します。

(調査編集部資料より一部抜粋)







臨免や免許外の指導者が、昨年度より増加しており、安全面の指導や専門性の不足が懸念される。

また、技術分野、家庭分野とも20代の若年層が約20%を占める。各校に相談できる担当がないことがほとんどであるため、各支部の研究会などで、経験者から指導助言などが必要であると考えられる。

—— 全国中学生創造ものづくり教育フェアより ——

第19回全国中学生創造ものづくり教育フェアが1月25日(土)、26日(日)の両日、足立区立梅島小学校、女子栄養大学などを会場として開催されました。千葉県からも優秀作品が出品され、すばらしい成績を収めました。(県作品展展示の様子を掲載しました)

	
<p>文部科学大臣賞 千葉市立幕張西中学校 邨田 主海さん、青木 奎亮さん、福原 将太さん</p>	<p>全日本中学校技術・家庭科研究会長賞 御宿町立御宿中学校 米本 みれさん</p>
	
<p>厚生労働大臣賞 千葉市立小中台中学校 桑畑 史華さん</p>	<p>特許庁長官賞 千葉市立小中台中学校 須田 夏生さん</p>

—— 千葉県中学生木工工作作品展より ——

令和元年度千葉県中学生木工工作作品展(一般社団法人千葉県木材振興協会主催、本部会協力)が2月15・16日にQiball(きぼーる)1階アトリウムにて開催されました。今年度は県内各地区より計104点の作品が出品され、その中から16点が木材振興協会奨励賞に選ばれました。

<奨励賞>

作品名	学校名	氏名
六角箱	千葉市立都賀中学校	内田 怜那さん
小物入れ	千葉市立みつわ台中学校	森田 颯太さん
いす型飾り台	市原市立双葉中学校	小齊 斗尊さん
LEDライト	船橋市立海神中学校	天野 琴葉さん
キューブラック	船橋市立海神中学校	飯田和奈子さん
棚	市川市立第七中学校	伊東 良樹さん
物立て	我孫子市立布佐中学校	石井 陽向さん
小物入れ	成田市立遠山中学校	中村 駿也さん
変形本だな	東庄町立東庄中学校	岩瀬 琴美さん
手作り本棚	大網白里市立大網中学校	児玉 渉太さん
本立て	茂原市立東中学校	齋藤 雅さん
家具調椅子	長南町立長南中学校	佐藤 来咲さん
DVD&CDスタンド	大多喜町立大多喜中学校	小林 莉奈さん
桂材の一枚板で作った「木箱」	鴨川市立安房東中学校	長谷川新太郎さん
多目的収納ラック	君津市立八重原中学校	斉藤 百季さん
本立て	君津市立久留里中学校	山下 華奈さん

—— 編集後記 ——

突然の臨時休校となり、会員の皆様も対応に追われたことと思います。そのような状況の中、多くの方々に編集に協力いただき感謝申し上げます。次年度も作品展や研究大会などの情報を皆様に発信いたします。一年間ありがとうございました。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》